

第19期決算公告

2022年12月15日

株式会社デファクトスタンダード

貸借対照表

(2022年9月30日現在)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,295,955	流動負債	469,521
現金及び預金	804,276	買掛金	2,925
売掛金	370,181	未払金	284,278
商品	1,716,556	未払費用	97,786
貯蔵品	2,717	未払法人税等	4,728
前渡金	80	前受金	43,792
前払費用	67,523	預り金	35,926
未収消費税	133,207	その他	83
その他	218,351	固定負債	153,099
貸倒引当金	△16,940	資産除去債務	153,099
固定資産	596,291		
有形固定資産	316,600		
建物	461,768	負債合計	622,620
減価償却累計額	△174,136	(純資産の部)	
減損損失累計額	△268	株主資本	3,269,626
建物(純額)	287,363	資本金	100,000
工具、器具及び備品	73,912	資本剰余金	2,037,748
減価償却累計額	△50,776	その他資本剰余金	2,037,748
減損損失累計額	△212	利益剰余金	1,131,877
工具、器具及び備品(純額)	22,924	利益準備金	25,000
建設仮勘定	6,312	その他利益剰余金	1,106,877
無形固定資産	43,474	繰越利益剰余金	1,106,877
ソフトウェア仮勘定	43,208	(うち当期純利益)	(9,051)
商標権	266		
投資その他の資産	236,216		
敷金	166,597	純資産合計	3,269,626
繰延税金資産	56,582		
長期前払費用	7,487	負債純資産合計	3,892,247
その他	5,550		
資産合計	3,892,247		

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

(1) 商品

個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法）を採用しております。

(2) 貯蔵品

最終仕入原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法）を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しております。ただし、2016年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	15年
----	-----

工具、器具及び備品	4～10年
-----------	-------

(2) 無形固定資産（のれんを除く）

定額法によっております。

3. 外貨建の資産の本邦通貨への換算基準

外貨建資産は、決算日の為替相場により円換算しております。

4. 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、貸倒懸念債権等特定の債権について個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

5. 重要な収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び収益を認識する通常の時点は、以下のとおりであります。

リユース事業

ブランド、ファッション中古品を主とした中古品買取・販売事業及びその付随事業を行っております。商品販売については、商品の引渡又は発送時点において顧客が当該商品に対する支配を獲得し履行義務が充足されることから、当該商品の引渡又は発送時点で収益を認識しております。また、取引価格は、顧客との契約において約束された対価から、値引き及び返品等を控除した金額で算定しております。

6. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式によっております。